

# 核兵器禁止条約発効を記念して スタンディングアピール実施

原水爆禁止国民平和行進池田実行委員会は、1月22日の条約発効を記念して、「ツルヤ」前でスタンディングアピールを行い、通行中や買い物客の皆さんに核兵器の廃絶を訴えました。

その後、宣伝カーで町内全域を巡りました。

日本は唯一の被爆国でありながら、政府は禁止条約に背を向け、核保有国を擁護し核の傘が必要だと言いつつ続けます。

「悪魔の兵器」で安全も平和も守れる訳はありません。私たちは日本政府が核兵器禁止



条約に参加・批准し、核兵器廃絶の先頭に立つよう求め、署名活動を行っています。

池田町は「核兵器廃絶・軍備縮小平和の町」宣言を行っており、町議会でもこの12月議会「禁止条約に参加批准するよう政府に求める」陳情が採択されました。

条約の発効にあたって町長に面会し、今までのお力添えに感謝するとともに、署名への協力をお願いしました。

後日、町長はじめ職員・家族の皆様などから多くの署名をいただきました。感謝申し上げます。

現段階で核保有国や核抑止力に依存する国々が1か国も署名・批准していません。今後も核廃絶を求め運動を続けていきますのでよろしくお願ひいたします。

(池田原水協 太田勅)

## フアンクラブ総会

### 飲食なしに開催

毎年2月に新年会を兼ねて実施している「フアンクラブ総会」ですが、本年は新型コロナウイルスの影響で飲食なしに行いました。

## 町予算と財政状況説明会開かれる

### 参加者された方に感想をお聞きしました

18、19日池田町の財政難を招いた責任と、今後の改善方針について2回目の説明会が開催されました。

まず、現在の財政状況を招いた理事者としての、責任の取り方のひとつとして、町特別職の歳費削減の提案がありました。

月額給与を町長30%、副町長20%、教育長13%減額するというものです。

財政状況改善に向けた町の方針などの説明を受け、歳出削減案が示されました。

参加者からは「町側は実態の認識が低い、今後どのような

2月14日(日)に多目的研習センターで、20年度の活動報告と会計報告、21年度の活動方針と会計予算が提案され、採択されました。

参加者から建設的な提案をいただき今後活かしてい

に改善するのが見えてこない」「美術館、創造館、大峰高原などの指定管理委託料は高すぎる、見直しを」「事業の計画性が無く、いたずらに借金を増やした。借金返済計画は甘いのではないか」などの声が上がりました。

(参加者Aさん)

前回に比較して特別職の大幅な給与削減などが提示されたにもかかわらず、「これで本当に大丈夫か」という会場の雰囲気はどうしてだろう。

くことを確認しました。ちょうどバレンタインデーだったので、皆さんに小さいチョコレットをお渡ししました。

危機をまねいた原因を“作り出した”生み出した”等の言葉で締めくくり、その過程究明が不十分のまま策を提案していることにあるのではないか。

今回新たに追加された非農用地の活用(予算5億)と会染保育園の施設改修(予算3億と5億)の2案で実質公債費比率が提示されていないが、これを実施すれば実質公債費比率が18%を大幅にアツプし大きな問題になる。

町職員の退職勧奨年齢を45歳とする案も大問題だ。議会に対する批判も多かった。議会としても早急な町民説明が求められる。

(参加者Sさん)

## 生活保護は権利です！

### ホームレス殺害事件からみえたもの

昨年11月、夜明けまで都内の幹線道路沿いのバス停のベンチで過ごしていた64歳の女性が、頭を殴られて死亡するという事件がありました。所持金はわずか8円だったとのこと。

夜間はバス停で過ごし、昼間は日雇いの仕事に行っていたが、コロナの影響で仕事がなくなくなったとのこと。

事件の後、殺害されたホームレス女性を追悼し暴力と排除に抗議するデモが行われたと報道がありました。他人ごとと思えない人が多くいるのだと思います。

国会での追求もあり、厚生労働省が生活保護の積極的な利用を促す異例の呼びかけを始めました。

「生活保護の申請は国民の権利です」「ためらわずにご相談ください」といったメッセージをウェブサイトに掲載し、申請を促しています。

## 森発言、いついかな

2月12日に五輪組織委員会の森会長が辞任しましたが海外からの厳しい反応はまだ続いています。

男性たちからは「そんなに問題になる発言なのか？」との声も聞かれましたが、私は「トップとしてとんでもない言動だ」と思いました。

狭い日本国内であれば今までは聞き流されていた言動でしょう。過去にも2回ほど女性蔑視の発言をしていた森氏を会長に任命した古い日本の



を説明しています。

コロナ禍もあり、誰もが生活困窮に陥る時代です。自己責任とのバッシングがあり助けを求められず、自ら命を落とす人が絶えません。

皆さんはどうお考えですか。 3丁目 山本久子

慣習だと言わざるを得ません。問題の「女性がたたくさんはいつている理事会は時間がかかる」との発言を聞いた瞬間の男と女の受け止め方の違いがとても気になりました。ようやく「ジェンダー平等」という言葉があちこちで聞かれるようになったが現実はまだなかなかハードルが高い内容です。

男女は、文化的・社会的に平等であり、仕事や賃金に差があったり、偏見・不平等の扱いがあつてはならないということなのです。

世界ではヨーロッパを中心

に女性の社会進出(議会、教育、企業等)が当たり前になっています。

世界からこれほどバッシングを受ける日本の社会も変えていく努力が求められています。

女性の社会進出の場を増やし、さまざまな分野で管理職も3割は女性にするなど一定の仕組みを作る事ができれば、多くの女性が活躍でき、このようなことが起きる事はまずないでしょう。

脳科学者は言います。「女

## 読者の声

町に対して意見がある時など意見箱の利用が重要だと思います。役場内には設置されていますが中に入らないといけないため、職員の日もあり躊躇してしまいます。ぜひ、エレベーターの横あたりに設置していただくことを希望します。(60代女性)

NHKで4回にわたって放映された「100分de名著マルクス“資本論”」を一気に読みました。作者は気鋭のマルクス研究者、斎藤幸平・大阪市立大学大学院経済学研究科准教授です。

NHKでこんな番組が放映されたことは驚きでした。友だちにも勧めたい本です。(70代女性)